

新型コロナウイルス 抗体検査について

2021年10月15日

① 抗体って何ですか？

ワクチンを接種したことで得られる抗体の役割は、ウイルスとヒトの細胞が結びつき、感染することを阻害することです。この抗体の働きで、新型コロナウイルスに感染するリスクを減らしたり、症状を抑えたりする効果が期待されています。

② 抗体価って何ですか？

「抗体の量」のことで、この数値が高ければ高いほど、予防効果や重症化を防ぐ効果が高いと言われています。ワクチン接種により得られる抗体価は個人差が大きく、ワクチンを接種したから必ず十分な量の抗体価が獲得できるとは限りません。

③ 抗体検査をすると何がわかるのですか？

ワクチンを接種したことで、抗体が獲得できたかどうかと、抗体価(抗体の量)を知ることができます。

④ 抗体検査はした方がいいですか？

「ワクチンを接種したけど抗体がちゃんとついているか心配」「どのくらいの抗体の量があるのか気になる」という方におすすめします。現時点では「検査をしなければならない」ものではありません。

⑤ 検査はどのように行うのですか？

血液検査です。普通の血液検査と同様、採血を行い、抗体の量を調べます。

⑥ 検査はいつ頃受けるのがいいですか？

ワクチン接種後、2週間以上空けてから受けることが推奨されています。

⑦ 結果はいつわかりますか？

検査 1週間後、病院で直接お渡し致します。患者様の取り違い防止のため、郵送やメールでのお知らせは行っておりません。

⑧ ワクチンが色々ありますが、どのワクチンでも結果はわかりますか？

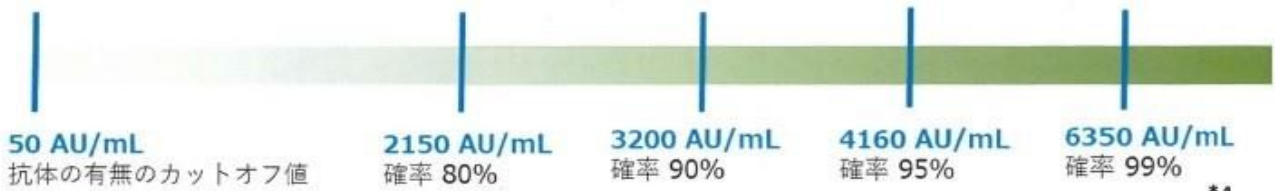
現在日本で使用されている、ファイザー・モデルナ・アストラゼネカいずれのワクチンでも検査可能です。

⑨ 検査結果はどう解釈すればいいですか？

まずは判定が(-)か(+)かを確認しましょう。(-)なら抗体がついていない、(+)なら抗体がついていることを示しています。

抗体価(抗体の量)については数字が記載されています。

抗体価の数字ごとのおおよその予防効果は以下の通りとされています*1



ワクチンの有効性を測るテスト(PRINT ID50)*2を使用した例では95%信頼区間で4160AU/mLでした

例えば、4160AU/mL を超えると、100人中95人の確率で、ウイルスの効果を50%低下させるだけの抗体を得ている可能性がある、と考えられています。

*1N Engl J Med 2020;383:2603 - 2615 *2 厚生労働省 HP より引用

但し、現時点では高い数値だから感染しない・症状が軽い、低い数値だから感染する・症状が重い…といった確定した情報は示されておらず、それを証明できる研究もまだ十分に進んでいないのが実情です。

⑩ 抗体があれば新型コロナウイルスに感染しませんか？

「ブレイクスルー感染」という言葉がある通り、抗体があるからといって必ずしも感染しないわけではありません。また、前述の通り、抗体検査でわかることは「抗体があるかどうか」と「抗体の量がどのくらいなのか」ということであり、「感染しない」「重症化しない」指標とはなり得ません。抗体の獲得が確認できたからといって、感染対策をしなくてよいわけではありません。引き続き、感染予防対策を行いましょう。

⑪ 抗体価は減りますか？

ワクチンの接種から期間が経過することで、抗体価は低下すると言われています。抗体検査では採血を行った時の抗体価を調べることができますが、その後どのくらい低下するのかを調べることはできません。気になる方は期間を空けて、再検査されるのもよいでしょう。

⑫ 抗体価が減っていたら3回目の接種を受けた方がよいですか？

前述の通り、「抗体価がどのくらいあれば感染しない」という指標は残念ながらありません。そのため、「抗体価がどの程度減っているから3回目の追加接種をした方がよい」などということを明確にお答えすることは難しいです。追加接種されるかどうかはご自身でご判断ください。

⑬ 検査のために必要なものはありますか？

ご本人確認をとるため、検査時、検査結果受け取り時ともに健康保険証をお持ちください。

⑭ 検査費用はいくらですか？

5,500円(税込)で承っております。検査は保険適応外で、全額自費となります。

⑮ 検査結果について先生とお話できますか？

新型コロナ抗体検査につきましては、まだわからないことも多く、前述以上のことについてはご説明が困難です。従いまして、検査結果について個別の診察は行っておりません。予めご了承ください。

医療法人社団大隅会 森本病院